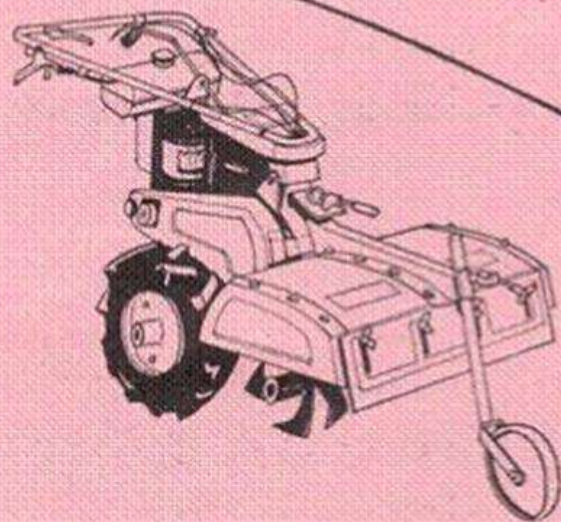


マメトラスーパーリターン

SR-220.240

使用説明書

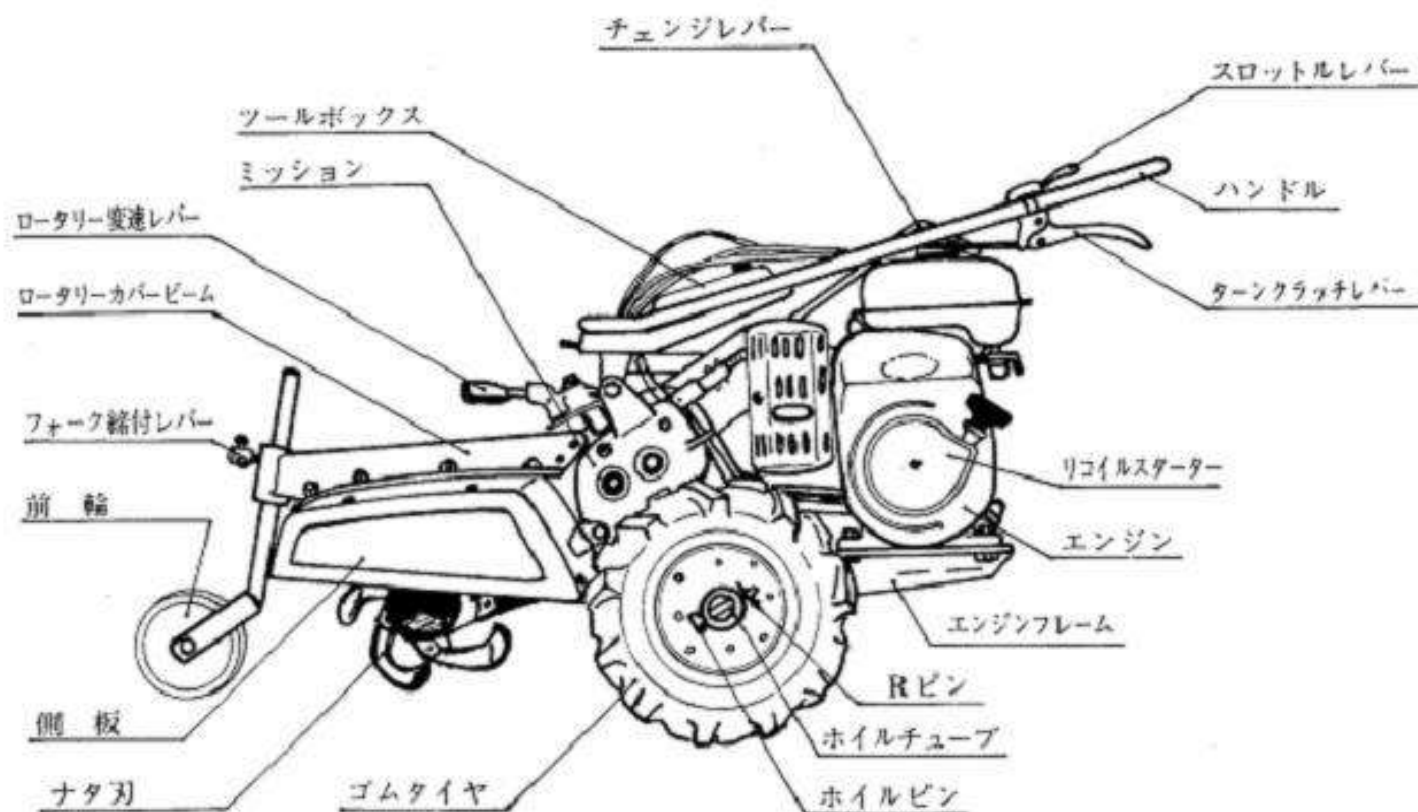


マメトラ農機株式会社

目	
1. 各部の名称	2
2. 特 長	3
3. 仕 様	4
4. 本機の組立	5
(4-1) ハンドルの組立	
(4-2) ドラムローターの組立	
(4-3) ハンマードラムの組立	
(4-4) 防塵板の取付け	
(4-5) 防塵カバーの取付け	
(4-6) 分草板と残耕処理刃	
5. 運転前の注意	8
(5-1) ミッションオイル	
(5-2) エンジンオイル	
(5-3) エアークリーナ	
(5-4) 各部の点検	
6. 始動の注意	10
(6-1) エンジンの始動	
(6-2) エンジン作動時の厳守事項	

次	
7. 運転操作	10
(7-1) チェンジレバーの操作	
(7-2) メインクラッチの操作	
(7-3) 旋回方法とクラッチレバーの操作	
(7-4) ハンドルの調整と使用法	
(7-5) ロータリーの変速レバー操作	
(7-6) ロータリーカバーの調整	
(7-7) 前輪の調整	
8. 手入れと保管	14
(8-1) リコイルスターターの手入れ	
(8-2) ドラムローターの掃除	
(8-3) エンジン関係	
9. アタッチメント	15
(9-1) 耕耘作業	
(9-2) らせん犁、畦立覆土	
(9-3) ハンマーローターと分草板	
(9-4) 溝堀機	
(9-5) 施肥作業	
(9-6) 抜根機	
(9-7) 動力取出しブーリ	

1. 各部の名称



2. 特 長

本機はみかん、りんご、ぶどう等の果樹園の中耕除草から桑園管理作業そして小型ロータリー耕耘作業、ハンマーローターによる雑草退治までを満足できる様に設計されており安定性は抜群で婦女子の方でも操作が出来ます。

- 1) ハンドルは調整レバーのワンタッチ操作で上下左右前後にフル回転します。枝下作業やハウス内でも自由に操作が出来ます。
- 2) 逆転自走式ですから機体の飛ばねがなく碎土も良好で手ばなし作業も出来ます。またチェンジレバーの操作で前進後進のいずれでも作業が出来ます。
- 3) ロータリー変速は3段で荒耕し、中耕、溝掘、ハンマーと作業に合せた回転がレバー一つで行なえます。

- 4) 速度は前進2段後進1段で条件によっては高速で作業が出来ます。
- 5) ミッションは駆動部とロータリー部が一体構造ですから無駄がなく軽量でかつ強靱です。
- 6) センタードライブ方式ですからアタッチメントの交換が容易でかつ特殊な分草板によりハンマー作業でも残草がありません。
- 7) ターンクラッチを内蔵していますから旋回時につかれません。
- 8) ロータリー軸はスプライト方式で丈夫です。
- 9) 各種アタッチメントが豊富に揃っており利用範囲が広く経済的です。
- 10) 安定性抜群で傾斜地作業に最適です。

3. 仕 様

本 機

本機型式	SR-220 SR-240			
寸	全 長	1510~1633mm		
	全 巾	650mm		
	全 高	735~1020mm		
法	重 量	97kg(エンジンなし、4.00-7タイヤ) ハンマードラムセット)		
主クラッチ	ベルトテンション式			
変 速 段 数	前進2段 後進1段	L	H	R
		km/H	km/H	km/H
ロータリー変速	3段(ニュートラル付)	1	2	3
		r.p.m	r.p.m	r.p.m
		196	406	1680
作 業 巾	600mm(耕耘は400mm巾も可)			
轍 間 距 離	521~741mm(タイヤ外巾)			
車 輪	4.00-7 ゴム車輪			
伝 導 方 式				
作 業 機	ドラムローター、耕耘チェーン、ハンマードラム、ラセン犁			
PTO回転数	600r.p.m.(正逆共)			

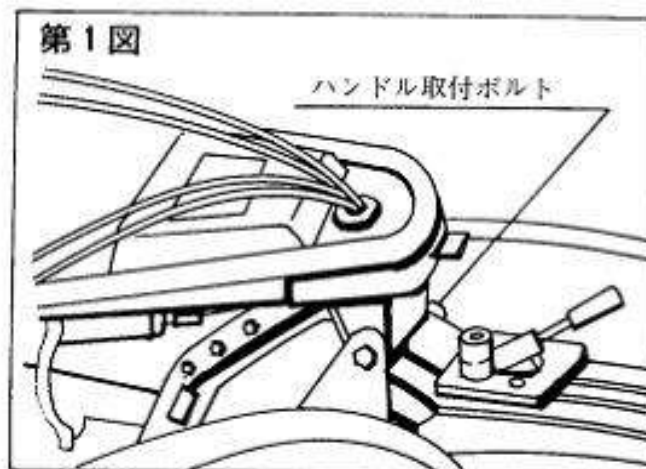
エンジン

エ ン ジ ン	GE22SK	G4L
型 式	空冷4サイクル	空冷4サイクル
排 気 量	217cc	236cc
出 力/回転数	4ps/1600r.p.m~ 5.5ps/1900r.p.m	4.5ps/1800r.p.m 6.5ps/2000r.p.m
重 量	28kg	27.5kg
使用オイル	MS~DM SAE20#~30#	SAE20#~30#
起 動 方 式	リコイルスターター	リコイルスターター
点 火 栓	NGK B-6S DENSO W-14	NGK-B6 DENSO W14
燃料タンク容量	4.7ℓ	4ℓ
燃料消費率	308g/ps.H	300g/ps.H
使用燃料	ガソリン	ガソリン

4. 本機の組立

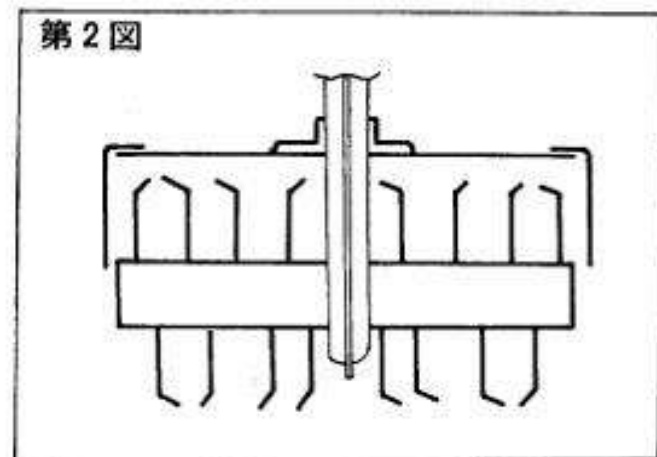
【4-1】 ハンドルの組立

- (1) ハンドルはミッションケースの上部のハンドル取付ステーにボルトを通して上下の調整が出来る程度に締付けて下さい。(第1図)



【4-2】 ドラムローターの組立

ドラムローターの刃の配列は(第2図)のごとく取付けて下さい。刃の取付ボルトは確実に締付けて下さい。なお少し作業をしてから弛みがないかを確認して下さい。

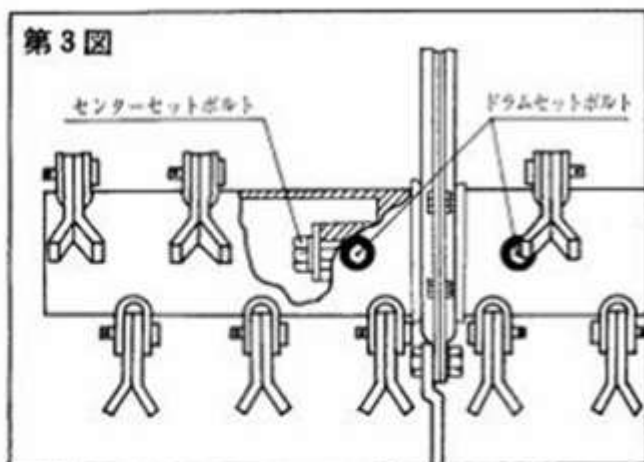


【4-3】 ハンマードラムの組立

ハンマーローターは左右対称で1組になっており左右どちらでもセット出来ます。スプラインの皿モミにセットボルトを合せて締付けてからセンターボルトに座金を付けて締付けて下さい。

(第3図)

万一間違っって同一方向のドラムをセットしたり刃が一方向のみ無い状態で使用しますと高速回転のため本機が振動し故障の原因となります。刃は消耗品ですから摩耗したら御取替え下さい。



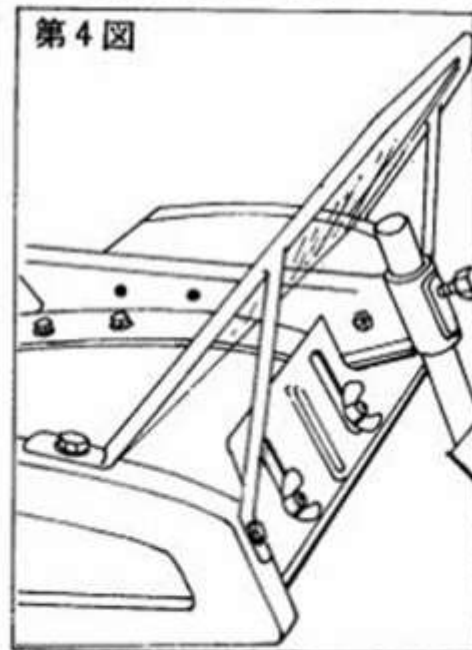
割ピンは確実に曲げてセットして下さい。(特に振動が感じた場合は点検して下さい)

【4-4】 防塵板の取付け

ハンマー作業の場合ビニール等が巻付くとハンドル側にゴミ等が飛ぶことがあります。危険ですから防塵カバーを取付けて下さい。(オプション)

(第4図)

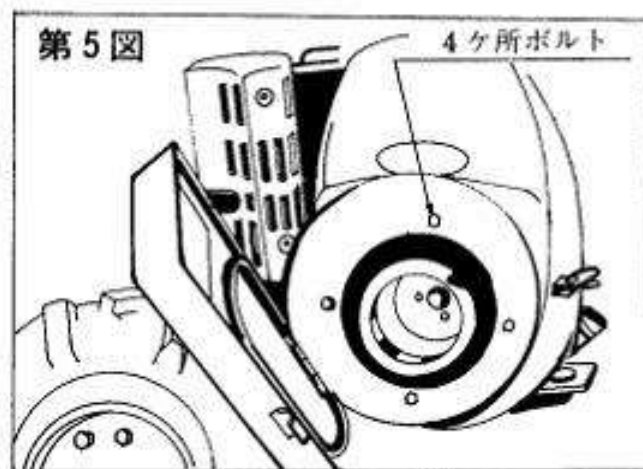
取付けはロータリーカバー側板のボルト4カ所で取付けて下さい。



【4-5】 防塵カバーの取付け

特に枯草等が多くリコイルスターターにゴミが
すぐつまるところでの作業にはオプションとして防塵
カバーがあります。リコイルスターターを外して
エンジン胴風板に（第5図）のごとく取付けて下
さい。

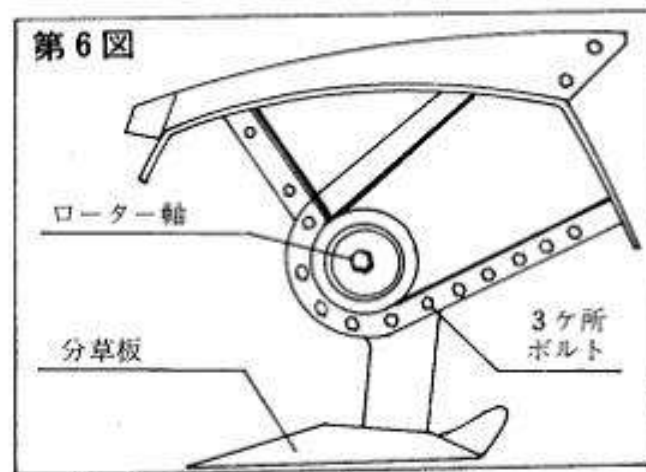
この場合は始動方法はロープスタート式となり
ます。（SR-220専用）

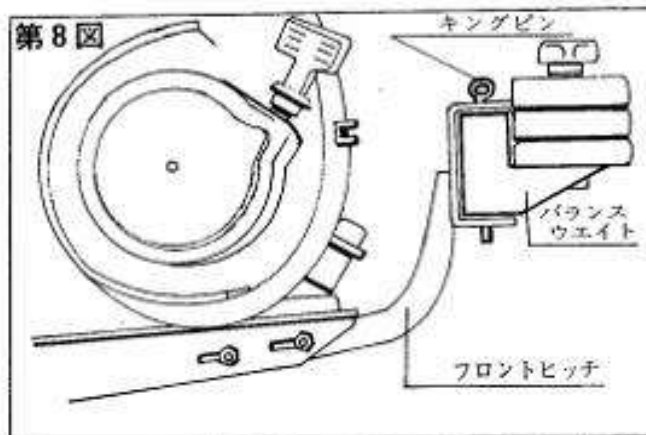
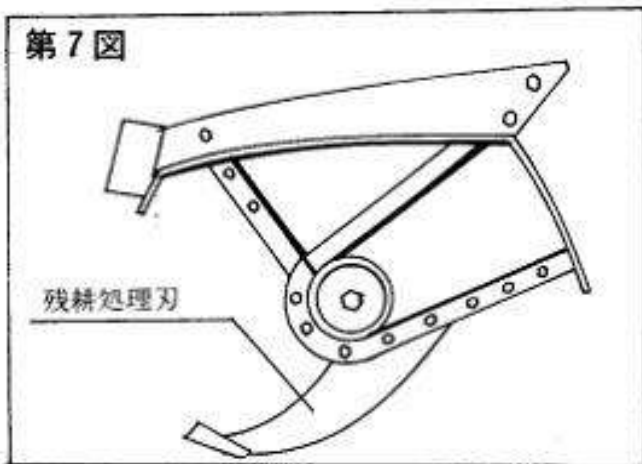


【4-6】 分草板と残耕処理刃

ハンマーローターの使用時は分草板をセットし
て下さい。（第6図）ケースの下の3カ所にセッ
トします。分草板をセットしないとセンター部に
草が残ります。耕耘作業時は残耕処理刃をセッ
トして下さい。（第7図）

但し残耕処理刃をセットし場合はハンドルは必
ずロータリー側（一般の耕耘機の様な状態）にし
てフロントヒッチ及バランスウエイトも必要となり
ます。（第8図）





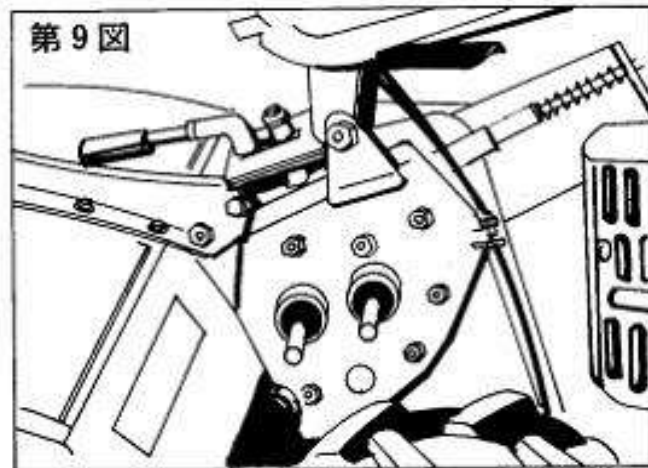
5. 運転前の注意

【5-1】 ミッションオイル

ミッションオイルは工場より出荷時に入れてありますが今一度注油口の蓋を外して確かめて下さい。口元まで入っていない場合は補給して下さい。(第9図) 2.7ℓ入ります。

ミッションオイルはSAE 90 \pm 120 \pm のギヤオイルを使用して下さい。

ミッションオイルの交換は初期1回目は4～5ヵ月後第2回目以降は年1回で充分です。



【5-2】 エンジンオイル

エンジンオイルはエンジン取扱説明書にも書いてありますが冬期はSAE20 \ddagger （春～秋30 \ddagger ）良質モーターオイルを使用して下さい。（第10図）

【5-3】 エアークリーナ

(1) GE22SKの場合

エンジンオイルをオイルレベルまで規定量入れてから運転して下さい。ホコリの多い時は時々クリーナの掃除が必要です。クリーナの掃除はエレメントを石油またはガソリンで良く洗いオイルを

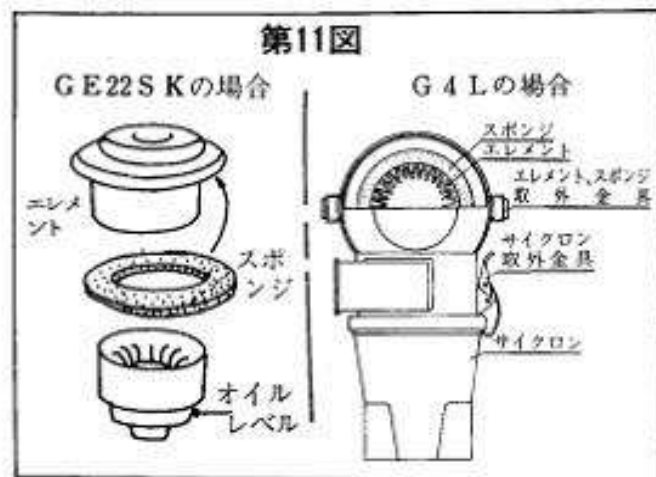
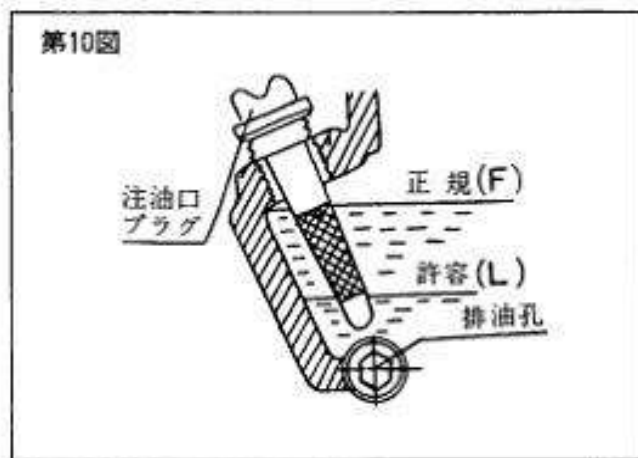
取替えて下さい。スポンジは外して良くたたいて取付けます。

(2) G4Lの場合

サイクロン室にゴミがつかえたときは取りはづし掃除して下さい。スポンジとエレメント（乾式）は時々外して良くたたいて掃除して下さい。エレメントはエア吹きするとききれいになります。

【5-4】 各部の点検

運転前に必ず各部のネジのゆるみ、オイル、燃料、タイヤ空気圧等を点検して下さい。



6. 始動の注意

【6-1】 エンジンの始動

エンジンを始動するときには必ずメインクラッチを切ってから行なって下さい。

【6-2】 エンジン回転中の厳守事項

- イ) 燃料補給
- ロ) ベルトカバーの脱着
- ハ) ベルトの調整
- ニ) ロータリーの草やごみの取除き
- ホ) ロータリー刃の取替

は絶対に行なわないで下さい。

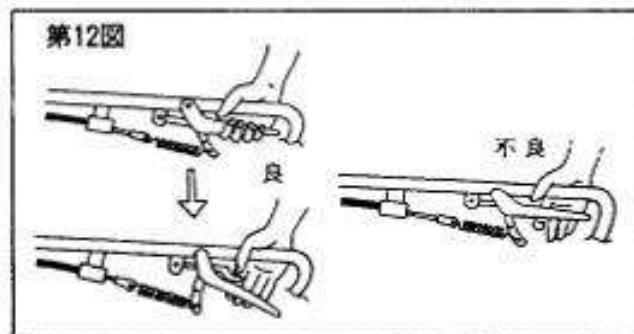
7. 運転操作

【7-1】 チエンジレバーの操作

チエンジレバーの操作は必ずメインクラッチを切ってから行なって下さい。低速⇄後退の切替はメインクラッチは切らずに切替られます。高速に入れるにはレバーを手元に引いてから左に倒して下さい。

【7-2】 メインクラッチの操作

- (1) クラッチレバーはレバーを握り、レバーが上がった状態でクラッチが入ります。クラッチを入れるには、右手4本の指でレバーを握ると、クラッチ固



固定金具がカチリと入りクラッチがロックされます。

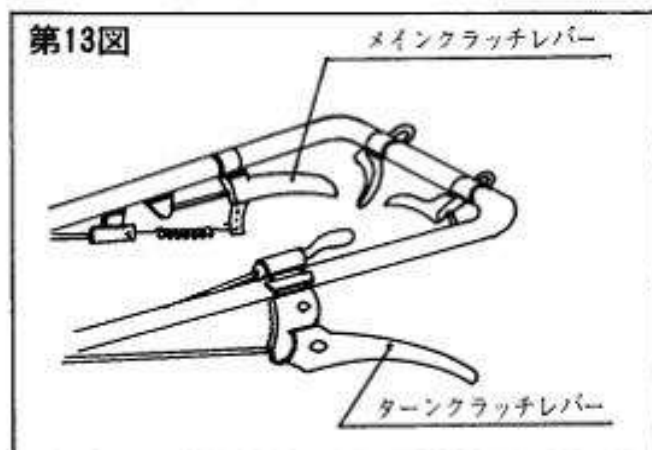
(2) クラッチを切る場合は、クラッチレバーとクラッチ固定金具の両方を一踏に握り同時にはなすと切れます。

(3) クラッチを切る時に、固定金具とクラッチレバーとを別々に握りますと、固定金具の凸部が摩擦し、クラッチの固定操作が出来なくなりますので、充分注意して下さい。(第12図)

【7-3】 旋回方法と変速レバー

ハンドル左側のターンクラッチレバーを握ると左側に旋回します。(第13図)

右旋回の場合は(第14図)のごとく左側ターンク



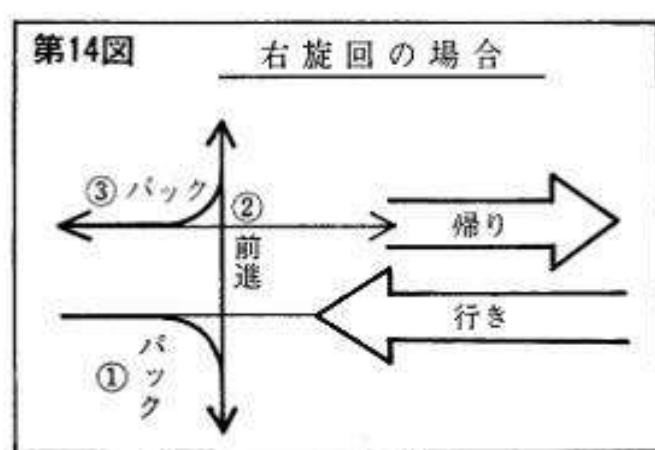
ラッチレバーを握りチェンジを(バック)後退に入れて90°左にバックをしてクラッチを放し前進させてまた後退しながらクラッチを握ると180°旋回が出来ます。

別の方法としてはチェンジレバーをニュートラルにして左側クラッチレバーを握ってハンドルを曲げても結構です。ハンドルを逆転した場合はクラッチも逆になりますので注意して下さい。

【7-4】 ハンドルの調整と操作

ハンドルの上下調整は手元レバー(右側)左右回動は(左側)を握ると自由に調整出来ます。(第15図)

ハンドルを180°回動させる場合はベルトカバー側

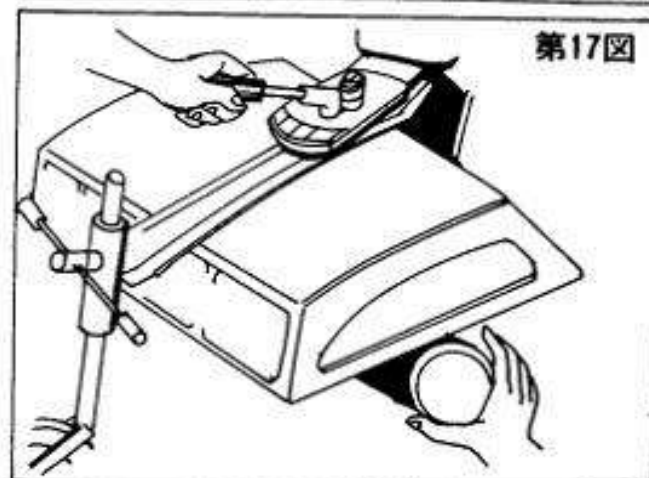
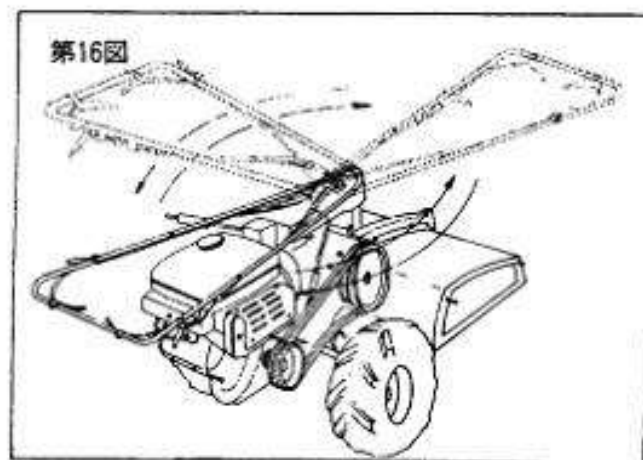
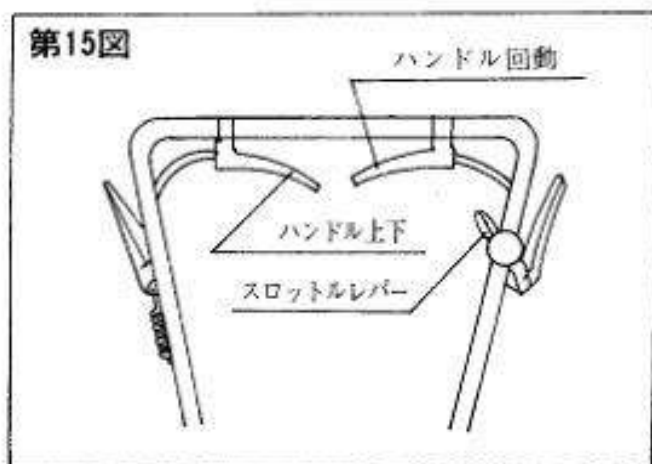


に回転させて下さい。元にもどす場合も必ずベルトカバー側に回してもどして下さい。

同一方向に回転させて行きますとクラッチワイヤー・スロットルワイヤー等をねじってしまいますので御注意下さい。(第16図) 180°回転させてバック速度を前進で使用することも出来ます。

【7-5】 ロータリーの変速レバー操作

ロータリーは作業に合わせて(低)(中)(高)の3段です。レバーの操作は必ずメインクラッチを切ってロータリードラムを手回ししながら入れて下さい。(ハンマードラム以外は(高)では使用できません。)(第17図)

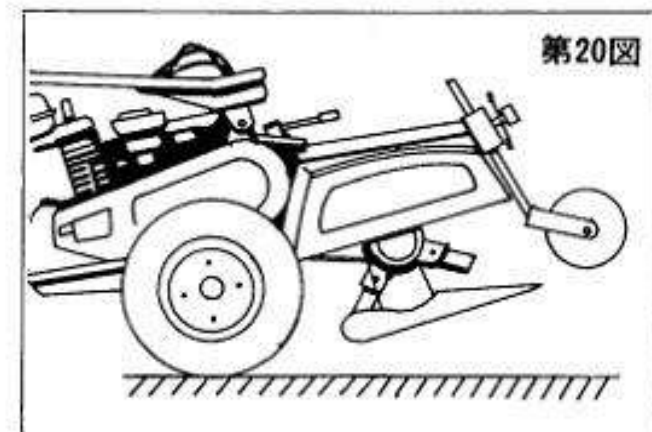
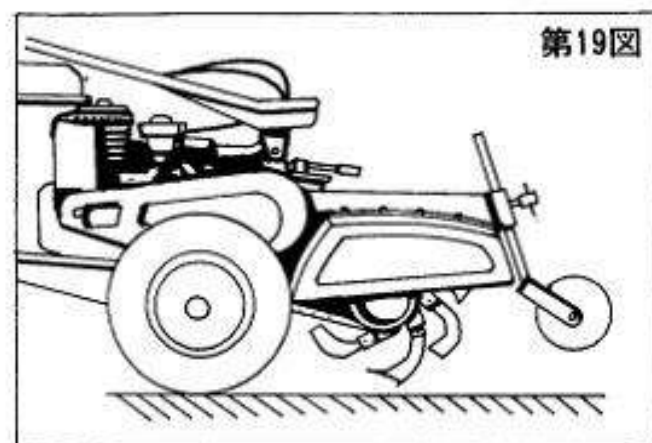
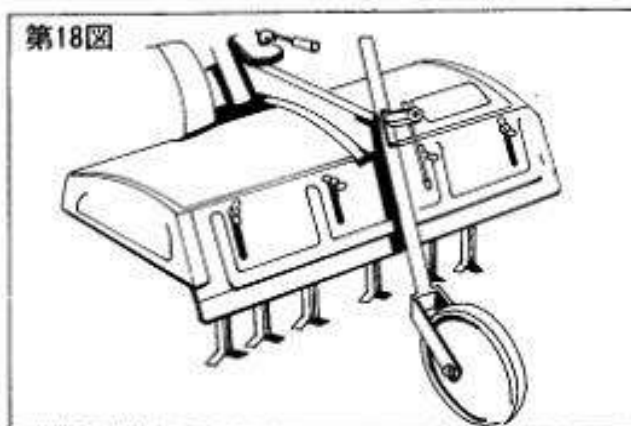


【7-6】 ローターカバーと補助カバー

ロータリーカバーの前板は作業によって上下に調節して下さい。らせん犁等で畦立を行なう場合は側板を外して下さい。(第18図) オプションとして補助カバーも用意してあります。

【7-7】 前輪の調整

ドラムローターの中耕除草では作業の深さは前輪を上にあげてセットする程深くなります。(第19図) ハンマーローター作業時は前輪をずっと上にあげてセットし分草板が土の上をすべるようにして作業をして下さい。但し旋回時は必ず前方を浮かせて旋回する様にして下さい。(第20図)



8. 手入れと保管

【8-1】 リコイルスタータの手入

ホコリの多い所で長時間使用しますとリコイルのロープの戻り不良や爪の引掛り不良等が起きることがあります。エンジンからリコイル本体を外し(ボルト4カ所) ガソリン等で内側を洗浄してから中心部の軸にオイルを2～3滴注油して下さい。(第21図)

【8-2】 ドラムローターの掃除

ドラムローターに草が巻付いた場合はチェンジレバーをニュートラルにしてロータリーを高速回転させると良く取除けます。ドラムローターを手回して重いような場合は一旦ドラムセットボルトをゆるめてドラムを外し内側のゴミ等を取除いて下さい。セットボルトはセンターボルトと2カ所ありますので注意して下さい。(第22図)

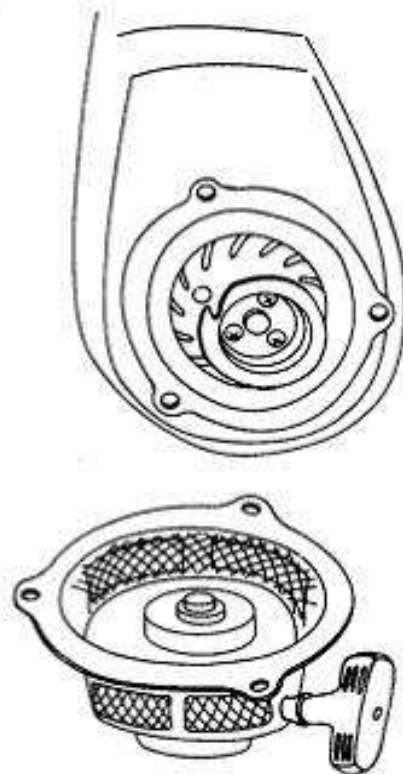
取付ける場合はスプラインにオイルを注油して下さい。次に取外す時に容易です。(第23図)

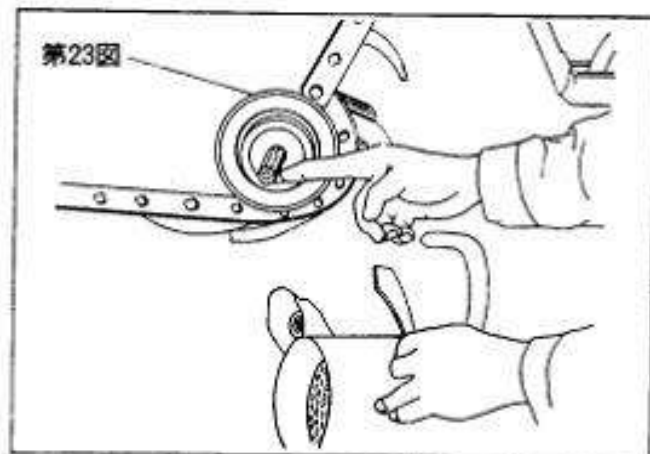
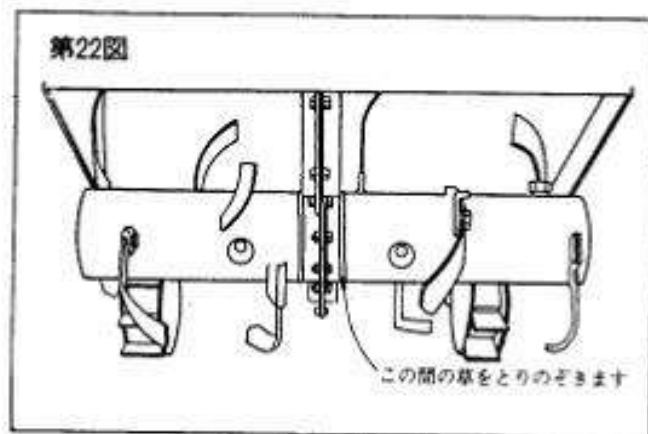
【8-3】 エンジン関係

エンジンを停止した時は燃料コックを閉めておいて下さい。長期間保管する場合は燃料コックを閉めエンジンが停止するまで回転して下さい。

(詳細は別冊エンジン取扱説明書参照)

第21図

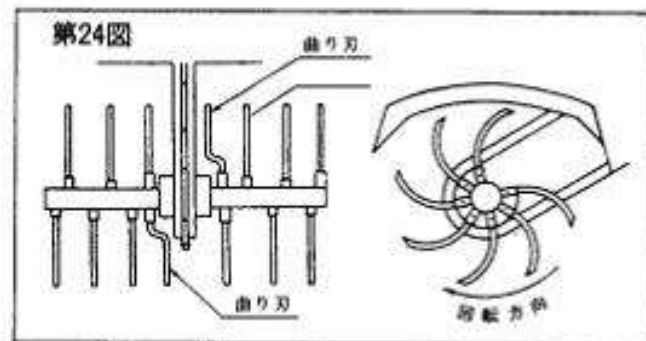




9. アタッチメント

【9-1】 耕耘作業

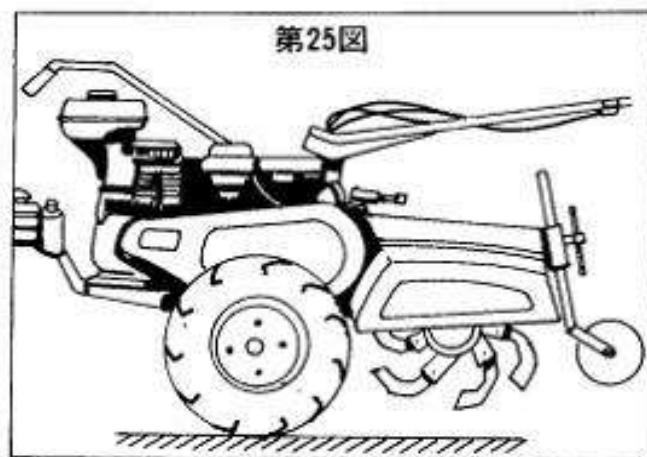
耕耘作業には圃場条件により耕耘刃受にナタ刃または普通爪のセット、多用ローター等があります。いずれも耕耘、荒起しに残耕処理刃をセットして、ハンドルは逆転(180°)させてフロントヒッチにバランスウェイトを取付けて行ないます。(第24図)(第25図)この場合旋回時に左側レバーを握ると右回りとなりますので注意して下さい。



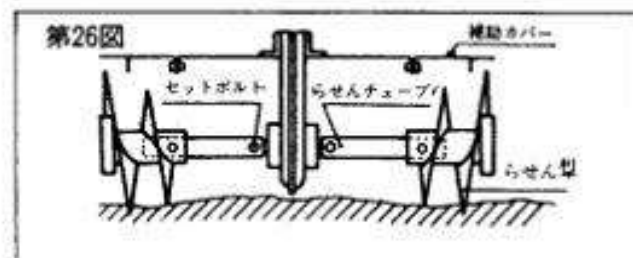
【9-2】 らせん犁

畦立覆土作業にはドラムローターを外し、らせんチューブをセットしてそれにらせん犁をセットして行ないます。(第26図)(第27図)(第28図)

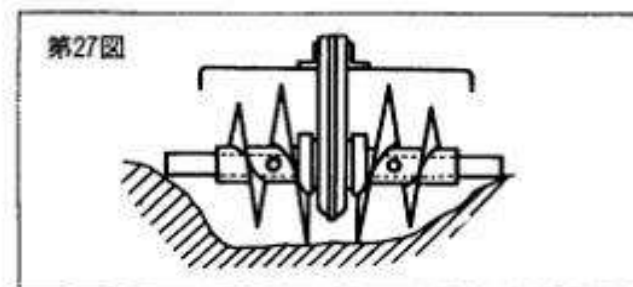
ロータリーの回転数と取付位置によって畦の大きさ巾等を調整して下さい。覆土の場合は、補助カバーを取付けて下さい。但しロータリーを低で行なえば補助カバーがなくとも可能です。



第25図



第26図



第27図

【9-3】 ハンマーローターと分草板

ハンマーローターで草刈作業の場合草丈が60cm以上の所は前方を少し上げて一度草を粉碎して下さい。また条件の良い所では高速でも作業が出来ます。(第29図) 分草板で草を分けて行きますから残草はほと

んどありません。但し前輪で草を踏み倒す様にしますと残ります。旋回する場合は必ずハンドルを押し下げて前方を浮かせて旋回して下さい。前方を土面に付けたままですと分草板が曲がるがあります。

